

師”

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 58

【整理番号】 05A0074436

【和文表題】 事例でみる保健師活動の評価 ここさえ押さえればクリアーになる!保健師活動の評価はなぜ必要なのか?

【著者】 平野かよ子 (国立保健医療科学院)

【資料名】 保健師ジャーナル

【発行】 2005.01.10【巻】 61【号】 1【頁】 8-12

【抄録】 “保健活動の評価の必要性と評価のポイント及び評価のメリットについて述べた。保健師の関わる行政事務事業と地方分権, 責任及びその評価の重要性について述べた。評価により保健師がどのような力をつけたかについて述べた。保健事業の評価の観点として, 保健事業の実施のプロセスと保健師自身の変化の評価について述べた。更に, 保健事業の評価の特徴について説明した。”

【分類コード】 GB04020H (614.2/.4)

【キーワード1】 “保健所, 保健婦, 評価, 地方自治体, 事業, 事例研究, 医療制度”

【キーワード2】 “JCME, 保健事業, 保健師”

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 59

【整理番号】 05A0042633

【和文表題】 市町村合併に伴う地域住民の保健・医療サービスへの評価:旧玄海町の調査から

【著者】 “森山浩司, 松浦賢長 (福岡県大 看護)”

【資料名】 福岡県立大学看護学部紀要

【発行】 2004.09.30【巻】 2【号】 1【頁】 21-28

【抄録】 “市町村合併に伴う保健・医療サービスを評価し今後の方向性を検討した。2003年宗像市玄海地区での健康祭りで, 保健・医療に関する無記名質問紙調査を実施し, 参加者の中の回答が得られた193人を調査対象とした。結果, 1)旧玄海町所在の病院利用者の割合は, 非高齢群(23-64歳)68.1%・高齢群(65歳以上)82.1%で有意差を認めた。2)旧宗像市への交通手段で, 自家用車が非高齢群95.8%・高齢群59.8%で, バスが非高齢群4.7%・高齢群37.8%で両群に有意差を認めた。3)旧宗像市に1カ月に行く回数は, 非高齢群12.9±10.9回で, 高齢群7.8±8.7回で有意差を認めた。4)新宗像市の病院施設(医療体制)に満足な人の割合は, 非高齢群38.8%で, 高齢群61.1%で有意差を認めた。市町村合併に伴うサービスの偏りを防ぐため, 合併後は行政が住民の立場から再評価し, 利用環境を含め, より良い保健・医療サービス

の検討が必要であると述べた。”

【分類コード】GB04020H (614.2/.4)

【キーワード1】“地方自治体, 健康管理, 医療制度, 実態調査, 老人, 成人, 病院, 自家用車, バス, 併合, 行政, 住民, サービス, 顧客満足, 交通機関”

【キーワード2】“JCME, 交通手段, 市町村合併, 病院利用”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 60

【整理番号】05A0035048

【和文表題】子ども虐待の発見とその対応 東京都三鷹市の虐待防止ネットワーク

【著者】松田博雄 (杏林大 医 小児科)

【資料名】薬の知識

【発行】2005.01.25【巻】56【号】1【頁】10-13

【抄録】“三鷹市には, “三鷹市子供家庭支援ネットワークが構築されており, 児童虐待の早期発見と再発防止に有効に機能している。本ネットワークは子供の虐待, 障害, 子育て支援を区別せず, 2つの子供家庭支援センターを拠点とし, 3つの公設公営の機関が中心となり, 保育園・幼稚園, 地域の医療機関など, 様々な社会資源との連携システムを築きあげており, 全国的にも高い評価を得ている。発達障害児を支援するネットワークが基盤となり, 地域の社会資源を生かしたネットワークを施設から家庭へと活動を広げた。保健・医療・福祉・教育の大きな改革の流れの中, 地方分権化の推進により, これらの支援システムが今以上に深刻な地域格差を生じる可能性が大であり, このシステムの後退はなんとしても避けたいと筆者は危ぐしている。”

【分類コード】GB04010W (616-058)

【キーワード1】“ヒト, 子供, 児童虐待, 社会問題, 東京, ネットワーク, 公共施設, コミュニティ, 家庭, 保育園, 医療施設, コミュニケーション, 障害児, 育児”

【キーワード2】“三鷹市, 子供家庭支援センター”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 61

【整理番号】04A0800492

【和文表題】私の地域包括ケア論 施設を有効に活用した在宅ケアの推進

【著者】小野剛 (町立大森病院)

【資料名】地域医療

【発行】2004.09.30【巻】42【号】2【頁】190-193

【抄録】“秋田県南部にある大森町の概要と同町における高齢者医療・福祉の流れを紹介し, 在宅ケア推進のための工夫や市町村合併後の地域包括ケアのあり方などについて述べた。

地域包括ケアの根本は、在宅ケアの推進である。しかし様々な理由で在宅での療養が困難な人や、在宅療養が可能になるまでもう一方の人々に対し、その人のステージに合った施設を上手に利用してもらいながら最終的に在宅療養に導いていくことも必要と考える。病院、施設、在宅支援など全ての部署からいろいろな職種が集まり、共通認識を持ちながら効率的な連携をとり、利用者個人の状態や状況にマッチした適切なオーダーメイドのサービスを検討・実施することが必要である。”

【分類コード】“GB07000G, GB04020H (616-083, 614.2/.4)”

【キーワード1】“在宅看護, 地域医療, 社会福祉施設, 老人保健施設, 病院, 社会福祉, サービス, 経営管理, 老人, ヒト”

【キーワード2】“介護老人保健施設, 介護老人福祉施設, 生活支援ハウス, 地域包括ケア”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 62

【整理番号】04A0689764

【和文表題】市町村合併と保健師活動〔事例3〕住民と進める保健福祉総合計画

【著者】山下久美子（熊本県あさぎり町 免田保健セ）

【資料名】地域保健

【発行】2004.09.15【巻】35【号】8【頁】37-45

【抄録】“2003年に中球磨地区5町村が合併し、あさぎり町が誕生した。合併前は予防接種や保健事業を実施しており、障害者プラン策定の要請があった。2003年より地域特性を活かし、包括的な保健福祉システムについて総合計画事業を実施し、各種会議、学習会を開催した。合併後は福祉課が窓口となり、次世代育成計画、障害者計画、高齢者保健福祉計画、健康日本21の4部会を設け、行動計画を策定している。合併2年目にはこれら諸計画の審議を行うまでに進展した。庁内プロジェクト会議では関係課と連携し会議の進行について十分検討していく必要性を感じている。また住民自ら行動を起こせるよう、住民の声を反映した計画策定を目指している。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 地域医療, 併合, コミュニティ, 保健婦, ヒト, 住民参加, 社会福祉, 計画, 熊本”

【キーワード2】“JCME, 市町村合併, 保健師, あさぎり町”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 63

【整理番号】04A0689763

【和文表題】“市町村合併と保健師活動〔事例2〕合併から半年、次年度の事業見直しを踏ま

えて”

【著者】岡野あかね（広島県安芸高田市役所）

【資料名】地域保健

【発行】2004.09.15【巻】35【号】8【頁】30-36

【抄録】“安芸高田市は2004年に6町が合併して誕生した。合併による保険事業の調整は、1)旧6町の事業内容を洗い出し、事業の違いを認識した。2)調整作業を機に事業を基本から見直した。3)合併後は「合併してもサービスは低下させない」理念に基づいて事業調整を行った。4)事業調整中は現状のすり合わせのため現行レベル維持に視点が集中し、事業の将来像を描くことが不十分であった。合併後5か月を振り返ると、1)本庁と支所の役割分担が不明瞭であり、記録様式、通知が十分調整されていなかった。この点は月1回の定例会議で改善とれてきた。2)合併に伴う予算削減で事業によっては見直しを迫られた。3)本庁と支所の機能分担による保健師の効率的活用が必要となる。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 地域医療, 併合, コミュニティ, 保健婦, ヒト, 公共事業, 広島”

【キーワード2】“JCME, 市町村合併, 保健師, 安芸高田市”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 64

【整理番号】04A0689762

【和文表題】“市町村合併と保健師活動 [事例1] 合併を経験し、改めて保健師活動について思うこと-人口500人の村から7万2,000人の市になって-”

【著者】長谷部裕子（山梨県南アルプス市役所 保健福祉部）

【資料名】地域保健

【発行】2004.09.15【巻】35【号】8【頁】20-29

【抄録】“山梨県で2003年に6町村が合併し、南アルプス市が誕生した。当市の概況と合併までの経緯を概説した。合併が決まり、合併協議会が設置され、その中に保健衛生班が設置され会議に参画した。具体的に成人検診事業について、種類別検診ワークシートの作成と最小限のすり合わせを行った。南アルプス市の保健福祉部は5課に別れており、保健師の配置と担当役割を図示した。現在保健師は25名で離れた部署で活動している。連携を図るため連絡会議と本庁保健師リーダ連絡会議を設けるほか、担当者会議、定例研究会などを行っている。保険事業は、離乳食教室、マタニティスクール、パパママ学級を実施した。本市の保健活動は今後の市としての保険事業を構築していきたいと思っている。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 地域医療, 併合, コミュニティ, 保健婦, ヒト, 山梨, 会議, 公共事業, 集団検診, 人事配置”

【キーワード2】“JCME, 市町村合併, 保健師, 南アルプス市”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 65

【整理番号】04A0689761

【和文表題】市町村合併と保健師活動〔各論〕合併を支援する保健所保健師の立場から

【著者】岡田明美（兵庫県 丹波県民局 柏原健康福祉事務所）

【資料名】地域保健

【発行】2004.09.15【巻】35【号】8【頁】11-19

【抄録】“兵庫県丹波地域民局は1市6町を管轄している。地域保健活動の調整は、合併協議会で行っている。保健所の役割は、1)会議の開催, 参画, 2)情報, 資料提供, 会議資料の作成, 3)医師会との交流, 4)保健師の役割分担, 5)関係保健所等との信頼関係の充実, である。各分野別の取り組み状況では、母子保健では、行政としての母子保健福祉サービスにおける前向きな姿勢と主体性を行政に訴え、小児医師と臨床心理士の雇用、乳幼児相談事業を発足させた。老人保健では、基本検診、癌検診の問題点を明確にし、機能訓練のあり方を検討し、地域リハビリセンター構想の一つに組み入れられた。合併による保健師への配慮留意すべきであろう。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 地域医療, 併合, コミュニティ, 保健婦, ヒト, 保健所, 役割, 会議, チーム, プロジェクト, 母子衛生, 人事配置, 兵庫, 公衆衛生”

【キーワード2】“JCME, 市町村合併, 保健師, 老人保健, 丹波地域”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 66

【整理番号】04A0689760

【和文表題】市町村合併と保健師活動〔総論〕市町村合併とコミュニティ・ガバナンスから見た保健政策

【著者】小島聡（法政大 人間環境）

【資料名】地域保健

【発行】2004.09.15【巻】35【号】8【頁】2-10

【抄録】“市町村合併によるメリットは、1)保健公共施設の利用が可能になる、2)保健師の採用・増強が可能になり、サービスが高度化、多角化する、といわれている。コミュニティ・ガバナンスの特色は、1)政策に対する住民参加、2)多元的な各種レベルへの多次元的な空間階層の自治の展開、3)ネットワークの形成、4)政策の立案、実施、評価の実施、である。保健政策としては、保健師の分散配置、行政計画の調整、住民組織の再編成が挙げられる。これからの保健師の能力は、専門職としての専門性を高めることである。保険関連行政への参加、住民

とのワークショップ,住民個人への取り組み,他コミュニティミーティングの活用である。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理,地域医療,併合,コミュニティ,地方自治体,権限,問題解決,住民参加,保健婦,ヒト,能力”

【キーワード2】“JCME,市町村合併,自治体内分権,コミュニティガバナンス,保健師”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 67

【整理番号】04A0640314

【和文表題】健康日本 21 地方計画についての市町村の心配事 Municipal Anxiety about Local Healthy Japan 21 Plans

【著者】“KUDO K (Miyagi Univ., Miyagi, JPN)”

【資料名】宮城大学看護学部紀要

【発行】2004.03【巻】7【号】1【頁】17-21

【抄録】“健康日本 21 地方計画における市町村の実情について述べた。日本の健康政策の策定システムは,伝統的に中央政府(厚生労働省),県,市町村から構成されていた。このシステムは,いわゆる「3 層構造」システムと呼ばれている。中央政府が健康に対する法律を制定し,県が国の法律に従い,市町村は県の政策に従って実行する。1994 年,地域保健法が導入された。新法のキーコンセプトは,地方分権である。この法は,健康政策の策定に対する伝統的な 3 層構造システムを変えた。すなわち,これまで県の衛生局が行っていた市町村の地方計画を,市町村の未経験の役人が策定しなければならなくなったのである。多くの市町村は,厚生労働省の要求する地方計画を進めることができなくなっているが,県の衛生局は効果的にサポートできない。3200 市町村の半数が,2005 年までに地方計画の準備が期待されているにすぎない。国の専門的支援システムに関する限り,ほとんど機能していない。この事態は,市町村の政策の策定能力をグレードアップすべきことを示唆している。”

【分類コード】GB04020H (614.2/.4)

【キーワード1】“ヒト,看護,厚生省,地方自治体,医療法規,地域計画,制度,政策,地域医療”

【キーワード2】“JCME,健康日本 21 地方計画,市町村,県,地域保健法,地方分権”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 68

【整理番号】04A0538423

【和文表題】厚生労働科学研究費・総合的な地域保健サービスの提供体制に関する研究(8)「これからの地域保健福祉対策に従事する保健師の活動のあり方に関する研究」より これからの地域保健福祉対策における保健所と市町村の役割-保健師の活動に焦点を当て-

【著者】平野かよ子（国立保健医療科学院）

【資料名】地域保健

【発行】2004.06【巻】35【号】6【頁】132-140

【抄録】“精神保健福祉法の改正に伴い、保健所と市町村はどのような役割を果たすことが望ましいのかを検討した。また地域特性に応じた保健所および市町村の保健師の役割・機能を明らかにすることを目的に調査を行った。今後進展する市町村合併は、精神障害者へのサービスの提供体制の再構築を求めることになる。また、市町村合併に伴い保健所の管轄地域の変更を余儀なくされるところもある。このような情勢を背景として、都市部では患者等の当事者自身による主体的な活動や家族会等の住民活動、また、生活支援センター等の支援機関の活動がより活性化されるであろう。そこで保健所と市町村は、これらの住民や支援機関が積極的に参画した地域精神保健福祉対策を築いていく事になると考えられる。しかし、社会資源も乏しく人口の少ない郡部においては、都市部と同様な状況を期待することは難しいため、行政が一般住民の障害者への理解と協力を得て家族会などの活動を支援しつつ、さらに一般市民が他者を配慮し住みやすい地域を築く等の公共性を高める保健活動を発展させることが課題である。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理，社会福祉，地域医療，保健所，コミュニティ，保健婦，役割，心身障害者，精神障害，精神衛生，住環境，実態調査，ヒト”

【キーワード2】“JCME，保健師，精神障害者”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 69

【整理番号】04A0480371

【和文表題】健康危機に対応した保健所等組織統合のあり方についての研究

【著者】“山本覚子，神尾友佳（県立広島女大 生活科学），藤本真一（滋賀県草津保健所），小窪和博（岐阜県東濃地域保健所），稲葉静代（名古屋市衛研），藤原奈緒子（広島大 大学院医学系研究科 保健学専攻）”

【資料名】日本公衆衛生雑誌

【発行】2004.05.15【巻】51【号】5【頁】371-376

【抄録】“平成14年10月現在の各地方自治体の保健所と福祉事務所等の統合の実態を把握し、保健所の重要な任務である健康危機管理の体制を今後とも推進するためのより良い組織および権限付与のあり方を提言していくことを目的とした。全国の保健所設置主体、合計123都道府県市区に郵送による自記式調査を実施した。112県市区（全都道府県、48市、17区）から回答があった。総合組織は市区で7市1区、都道府県では31府県存在していた。統合組織の長は、統合組織全体では医師34.7%、事務吏員63.5%、医師以外の技師吏員1.6%であった。統合組織名は様々であったが、富山県や横浜市では保健所の名称は使用せず、「厚生セ

ンター」,「福祉保健センター」を使用していた。保健所と福祉事務所の組織統合については、市区ではあまり進んでいなかったが、都道府県では 31 府県で組織統合があり、約 7 割を占めており、単独の組織として保健所を考えることはもはや無意味である。”

【分類コード】GB04020H (614. 2/. 4)

【キーワード1】“保健所, 統合, 危機管理, 健康管理, 社会福祉施設, 地域医療, 実態調査”

【キーワード2】“統合組織, 福祉事務所, 地方分権”

【ダウンロード】2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 70

【整理番号】04A0467985

【和文表題】宮城県の栄養・食生活改善活動の歴史と今後の課題 History and Problems in the Future for Improvement Movement of Nutrition and Diet in Miyagi Prefecture

【著者】“太田たか子 (宮城県大崎保健所), 平本福子 (宮城学院女大)”

【資料名】宮城学院女子大学生生活環境科学研究所研究報告

【発行】2004. 03. 01【巻】36【号】【頁】31-40

【抄録】“戦前-昭和 50 年代の宮城県における県及び市町村栄養士の独自の活動と昭和 50 年代から平成 6 年における第 1 次・第 2 次国民健康づくり対策, 市町村栄養士の活動(婦人の健康づくり推進事業, 老人保健事業)及び県栄養士の活動について述べ, 平成 7 年から平成 12 年における地域保険法による市町村栄養士の再結末及び地域保険法における保健所と市町村の業務の違い, 平成 12 年以降における「健康日本 21」による地域計画の策定及び「健康増進法」の制定について説明した。次いで, 宮城県の行政栄養士における今後の課題として, 市町村栄養士における事業目標の設定, 住民主体の事業展開及び市町村合併への対応と県栄養士における市町村支援, 食環境の整備, 専門的栄養・食生活支援活動及び特定給食施設への支援について考察した。”

【分類コード】GB01020M (612. 394)

【キーワード1】“栄養調査, 食事, 食習慣, 栄養指導, 改良, 栄養士, 健康管理, 女性, 老人, 法規, 地方自治体, 保健所, 宮城”

【キーワード2】

【ダウンロード】2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 71

【整理番号】04A0412094

【和文表題】保健師を考える・2 市町村保健師のアイデンティティ 市町村保健師の成果と課題 3)保健センターが核となった地域づくり

【著者】垣内春子 (鳥栖市 民生部)

【資料名】公衆衛生

【発行】2004.05.15【巻】68【号】5【頁】361-362

【抄録】“佐賀県鳥栖市では地域保健計画「うららトス 21 プラン」を策定した。少子高齢化で子育ての問題や高齢者の問題等、住民のニーズは複雑多岐にわたり、ワーキンググループにおいて、領域を乳幼児から思春期、成人期のライフステージごとに食生活、運動、こころ、飲酒と喫煙他に分け検討を行った。グループワークにより、住民の生の声が聞くことができ、回を増すごとに具体化し、自分たちのすべきことがよくわかってきた。これからも市民や、うららの関係機関・団体からの情報を把握し、保健センターから情報を発信し、地域づくりの拠点としての保健センターを目指す。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“保健婦、健康管理、地域医療、コミュニティ、医療施設、計画、住民参加、会議、認識、役割、協力、行政機関、佐賀、ヒト”

【キーワード2】“JCME、保健師、保健センター、地方分権、鳥栖市”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO.72

【整理番号】04A0412091

【和文表題】保健師を考える・2 市町村保健師のアイデンティティ 市町村合併と保健師活動

【著者】森広浩子（松江市役所）

【資料名】公衆衛生

【発行】2004.05.15【巻】68【号】5【頁】348-352

【抄録】“松江・八束合併協議会を構成する松江市および八束郡7町村は、新市が誕生次第「健康福祉部会」・「福祉分科会」・「健康医療分科会」を設置する。分科会は、旧市町村で取り組まれてきた健康教育等の地域特性による事業はできる限り継続していくが、出身自治体を超えて新市をイメージし、どれだけ論議が深められるかを検討する。保健師は、子育て支援センターや高齢者保健福祉部署へ配置する。市民の権利に立脚した「市民参画」として捉え直し、新たな市民と共に歩む保健活動を模索していく考えである。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“保健婦、健康管理、地域医療、併合、コミュニティ、島根、事務、公共事業、新都市、都市計画、建築計画、医療制度、社会福祉、指針、人事配置、栄養士、ヒト”

【キーワード2】“JCME、保健師、市町村合併、松江市”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO.73

【整理番号】 04A0339584

【和文表題】 鷹巣町に何が起きているか 岐路に立つ「ケアタウンたかのす」(5)「ケアタウンたかのす」の意義と課題

【著者】 大友信勝 (東洋大 社会)

【資料名】 月刊総合ケア

【発行】 2004. 05. 15 【巻】 14 【号】 5 【頁】 60-68

【抄録】 “秋田県鷹巣町における標記高齢者介護施設について概説。「ケアタウンたかのす」が目指したもの(個室化の意義, 生活空間とユニット化, 4つの空間領域と介護の質), 理想と現実(普通交付税の減額と市町村合併, 政治的な論点)について述べ, 今後の期待として, 個々の尊重を保障するサービス, 当事者・職員・住民参加の組織運営などにつき論じた。”

【分類コード】 GB07000G (616-083)

【キーワード1】 “秋田, 老人, 老人保健施設, 老人ホーム, 行政, 自治体, 看護, 住民参加”

【キーワード2】 高齢者介護施設

【ダウンロード】 2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 74

【整理番号】 04A0089513

【和文表題】 公衆衛生の構造改革 リーダーシップの養成-英米との対比から

【著者】 林謙治 (国立保健医療科学院)

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2004. 01. 15 【巻】 68 【号】 1 【頁】 31-34

【抄録】 “日本の保健所と類似の機能を有するイギリスの National Health Services (NHS) は, 地域ごとに Primary Care Trust (PCT) が置かれている。PCT の長は医師から非医師にだんだんシフトしてきている。アメリカでは公衆衛生か, 臨床医学の延長としての予防医学を主体とすべきかの激しい論争が行われ, そのためリーダーシップの養成に力が注がれた。日本の保健所をめぐる論議で危ぐされるのは, 地方分権論にからむ資格事項に埋没しがちであり, 資質という最も本質的な部分が討論の対象から遠ざかっていることで, 早期に人材育成を資格問題などの枝葉末節にとらわれない方法で行わねばならない。”

【分類コード】 GB02000X (614)

【キーワード1】 “公衆衛生, リーダシップ, 医療従事者, 人材育成, 保健所, 専門職制度, 医療制度, イギリス, アメリカ, リーダ, 資格, 必要条件, ヒト”

【キーワード2】 JCME

【ダウンロード】 2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 75

【整理番号】 04A0089511

【和文表題】 公衆衛生の構造改革 健康危機と地域における公衆衛生第一線機関の協働

【著者】 上木隆人 (東京都八王子保健所)

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2004. 01. 15 【巻】 68 【号】 1 【頁】 23-26

【抄録】 “健康危機対応のための地域での公衆衛生第一線機関の体制づくりについて考察する。健康診断や予防接種などの事業は対象者数も多く、事業の実施に追われることが多いが、その中から、健康診断に伴うミスや予防接種事故などが起きている。またプール水や地下水の汚染が見られたと保健所に連絡があったときに、その原因追求と対応は取られるが、その予測に関する配慮が足りない。そのためこれからの地域保健活動のリーダーは、健康危機管理対応を含めて、これらの地域の考え方をしっかり持って、さらに地域単位の活動を充実させていく必要性が大きい。第一線公衆衛生機関としての保健所は、公衆衛生の総合性を発揮していくために、今後さらに市町村保健センターとともに地域単位の活動を充実させていく必要がある。”

【分類コード】 GB02000X (614)

【キーワード1】 “健康管理, 行政機関, 地域医療, 危機管理, 健康被害, 定義, 予測, 能力, 意識, 改良, 協力, 社会問題, リーダ”

【キーワード2】 “JCME, 健康危機, 地方分権, 地域保健, 協働”

【ダウンロード】 2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 76

【整理番号】 03A0840232

【和文表題】 日本の地方公共団体に働く保健師の施策化に関する文献レビュー—Review on the Practice of Developing Programs by Japanese Public Health Nurses in Municipalities.

【著者】 “吉岡京子, 岡本有子, 村嶋幸代 (東大 大学院医学系研究科 地域看護学分野)”

【資料名】 日本地域看護学会誌

【発行】 2003. 03. 15 【巻】 5 【号】 2 【頁】 109-117

【抄録】 “本研究の目的は、日本の地方公共団体に働く保健師にとって施策化のもつ意義と、保健師活動の方向性を示唆することであり、1995年1月-2001年7月までに保健師の施策化に関して発表された日本の文献をレビューした。その結果、以下の知見が得られた。1. 保健師の施策化への関心の高まりは、国全体の行政改革や地方分権等の影響を受けていた。2. 施策化を推進していく際には、マネジメント・サイクル・モデル(Plan-Do-See)、政策過程モデル、地域づくり型保健活動モデルの、3つのモデルが用いられていた。3. 事例の分析により、保健師の施策化には、政策を地域の現状や住民ニーズに適應するような施策に修正し、具体的な事業を提供する「政策に基づく施策化」と、保健師が日常業務の中で把握した住民ニ一

ズに基づいて、新たな事業を起こし、政策や施策へ反映させる「ニーズからの施策化」の2方向あるという知見が得られた。(著者抄録)”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 公共事業, 地域医療, 文献展望, 文献検索, 政策, 保健婦, ヒト, 模型, 行動計画, 職務評価, 過程, 社会的欲求, 事例研究, 能力”

【キーワード2】“JCME, 地方公共団体, 保健師, 施策化”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 77

【整理番号】03A0790474

【和文表題】広域化の潮流と高齢者ケア 岐阜県における広域連合による介護保険への取り組み

【著者】朝倉美江 (中部学院大 人間福祉)

【資料名】月刊総合ケア

【発行】2003.11.15【巻】13【号】11【頁】37-42

【抄録】“介護保険制度の保険者である市町村にとって、介護の問題は重要な争点となる。岐阜県内の多くの町村は単独で介護保険を運営することが困難な状況にあり、広域連合を設置している割合が高い。広域連合とは何か、広域化による介護保険実施のメリットとデメリット、岐阜県下の広域連合による介護保険の実態、広域連合の課題と可能性について述べた。”

【分類コード】GB04010W (616-058)

【キーワード1】“ヒト, 老人, 社会福祉, 地方自治体, サービス, 岐阜, 住民意識, 財政, 管理システム, 問題解決, システム計画, 地域差, 老人ホーム, 老人保健施設, 在宅看護, コミュニティ, クレーム処理, 住民参加, デイケア, 公衆衛生”

【キーワード2】“老人保健, 介護保険, 広域化, 市町村合併”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 78

【整理番号】03A0790472

【和文表題】広域化の潮流と高齢者ケア 高齢者福祉とケアタウン 鷹巣町の新しい試練

【著者】前川清治 (みのり会)

【資料名】月刊総合ケア

【発行】2003.11.15【巻】13【号】11【頁】24-30

【抄録】“鷹巣町では住民参画型の福祉のまちづくりとして、在宅複合型施設ケアタウンの開設と高齢者安心条例の実践が行われ、高齢者福祉のモデルとされてきた。2003年首長の交代で福祉偏重の見直しが主張され、ケアタウンの補助金や運営、合併への動きによる高齢者

福祉への影響, 公的責任がどのように変化するのか, 鷹巣町と周辺 4 町村の動きと今後について述べた。”

【分類コード】GB04010W (616-058)

【キーワード1】“ヒト, 老人, 社会福祉, 地方自治体, サービス, 秋田, 住民参加, 町づくり, 訪問看護, コミュニティセンタ, 老人保健施設, 老人性痴呆, 補助金, 病院, 財政, 住民意識, 公衆衛生”

【キーワード2】“老人保健, 介護保険, 広域化, 町村合併”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 79

【整理番号】03A0790471

【和文表題】広域化の潮流と高齢者ケア 高齢者ケアからみた広域化の意義と課題

【著者】大友信勝 (東洋大 社会)

【資料名】月刊総合ケア

【発行】2003.11.15【巻】13【号】11【頁】6-12

【抄録】“日本の介護保険(I)は市町村を保険者としているが, 社会保険方式をとっているため, 制度の安定化に保険料の拡大, 広域的運営が不可欠になる要因を含んでいる。広域化は介護の専門的サービス基盤を整備するのに有利であるが, 実施主体の単位を大きくする。保険者が基礎自治体の枠を越えて規模拡大をはかることの意義や問題点について論じた。”

【分類コード】GB04010W (616-058)

【キーワード1】“ヒト, 老人, 社会福祉, 地方自治体, サービス, 住民参加, 財政, 医療制度, 精神衛生サービス, 家事, 在宅看護, 地域医療, 地域開発, 公衆衛生”

【キーワード2】“老人保健, 介護保険, 広域化, 市町村合併”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 80

【整理番号】03A0468641

【和文表題】《特集-21世紀へのオピニオン・激動する歯科》 歯科保健医療の将来はどう変わっていくか

【著者】森本基 (日本大)

【資料名】国際歯科学士会日本部会雑誌

【発行】2003.05.25【巻】34【号】1【頁】24-27

【抄録】“歯科保健医療の将来の変遷について, 以下の項目に分けて解説した。1) 保健医療制度の抜本的見直し-国民皆保険制度が日本国民に健康を与えた効果は極めて大きい。日本人の平均寿命世界第一位はこの制度のおかげである。しかしこの制度は, 医療技術的にも, 財政上からも見直しが必要であるといわれて続けている, 2) 政府が示した改正試案-抜本的

と称される改正案が政府から平成 14 年末に示された。この改正案は新聞情報の範囲で全貌が不明であるが、これからの議論で内容を充実させていくようなことが書かれている、3) 規制緩和を進め地方分権の改革こそ重要-規制緩和や地方分権の必要性は、医療の領域だけでなく、全ての領域で必ずしも十分には進んでいない、4) 国民皆保険を前提とした医療改善への試み-医療の改善は良質の医療を以下に広く深く普及させるかを、まず、第一にすべきであるが、本論では制度を中心とした観点から医療改善に取り組んでいる。特に歯科保健医療にあっては、歯科保健医療担当者が社会に向けて積極的に提案していくことが必要である。

【分類コード】 “GT01030Z, GB04020H (616.31-071, 614.2/.4)”

【キーワード 1】 “歯科療法, 健康保険制度, 医療費, ヒト, 日本, 規制, 歯科医”

【キーワード 2】 JCME

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 81

【整理番号】 03A0361479

【和文表題】 地域における保健師の専門的活動-研究・教育・実践-最近の地域保健行政と保健師の活動方法

【著者】 野村陽子 (厚生労働省 健康局)

【資料名】 保健の科学

【発行】 2003.05.01 【巻】 45 【号】 5 【頁】 327-332

【抄録】 “最近の地域保健の動向と、今後の保健師活動の方向性について考えた。高齢者対策として昭和 58 年から実施されてきた老人保健事業は、その一部が介護保険に取り込まれ、生活習慣病の 2 次予防に重点を置いた第 4 次計画が平成 12 年度から開始された。また同時に 1 次予防に重点を置いた「健康日本 21」がスタートし、健康づくり、疾病予防活動の新たな展開の時期に入っている。さらに福祉サービスの充実、ひきこもりや児童虐待、自殺予防対策などの心の健康問題への対応の必要性が高まっている。一方、地方分権の推進により、地域の課題は自治体が主体的に解決するという方向性がより鮮明になっている。このような中で今後保健師活動を強化するには、1) 住民のニーズを把握し、それを分析し、アセスメントし、提案・施策化につなげる、2) 直接サービスの提供、3) 連携・調整に関する活動、4) 施策化が必要となる。”

【分類コード】 GB02000X (614)

【キーワード 1】 “ヒト, 保健婦, 地域, 健康管理, 精神衛生, 行政, 老人, 社会福祉, サービス, 児童虐待, 自殺, 予防”

【キーワード 2】 JCME

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 82

【整理番号】 03A0335681

【和文表題】 現代の保健所論・1 地方分権と保健所

【著者】 佐甲隆（三重県 松阪保健福祉部）

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2003.05.15【巻】 67【号】 5【頁】 346-349

【抄録】 “21世紀の日本は「地方分権」と「住民自治」の時代と言われる。地方自治体における公衆衛生と地域保健の拠点機関として活動してきた保健所も、分権の時代にふさわしい意識と活動形態が求められている。公衆衛生とは「組織された地域社会の努力を通じて」推進されるものであり、住民主体のヘルスプロモーション活動を進めるためにも、正しい地方分権の展開が、公衆衛生の発展に寄与する。本稿では、地方分権の本質と保健所活動とのかかわりについて考察し、分権の時代にふさわしい活動展開スタイルの確立や、さらなる保健所の機能強化の方向性について述べた。”

【分類コード】 “GB02000X, GB04020H (614, 614.2/.4)”

【キーワード1】 “保健所, 地方自治体, 住民, 公衆衛生, 健康管理, 規制緩和, コミュニティ, 行政”

【キーワード2】 “JCME, 地方分権”

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 83

【整理番号】 03A0335680

【和文表題】 現代の保健所論・1 保健所の現在・未来

【著者】 犬塚君雄（愛知県 健康福祉部）

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2003.05.15【巻】 67【号】 5【頁】 334-337

【抄録】 “地方分権が進むなか、サービス提供のあり方、都道府県と市町村の役割分担のあり方、規制緩和と必置規制の見直し、福祉との統合などの点から、保健所のあり方が厳しく問われている。本稿では、総論的に基本的な考え方を記し、1)保健所をめぐる最近の課題、2)これからの公衆衛生活動の視点、について述べた。2)では、ヘルスプロモーションは全ての基本であること、「保健所」の看板を残すこと、保健所の設置主体を見直すこと、保健所長は医師が最適であること、を述べた。”

【分類コード】 “GB02000X, GB04020H (614, 614.2/.4)”

【キーワード1】 “保健所, 社会福祉, サービス, 地方自治体, 規制緩和, 公衆衛生, 健康管理, 行政”

【キーワード2】 JCME

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 84

【整理番号】 03A0181808

【和文表題】 世界の介護 日本の高齢者介護プラン

【著者】 横山寿一 (金沢大 経済)

【資料名】 教育と医学

【発行】 2003. 03. 01 【巻】 51 【号】 3 【頁】 222-229

【抄録】 “日本における高齢者介護プランにおける介護の基盤整備の計画を中心に、以下の項目に従って概説した。1) 介護の社会問題化とゴールドプラン(高齢者保健福祉十か年戦略)の策定, 2) 介護保険の開始と介護保険事業計画の策定, 3) 高齢者介護プランの具体的な仕組みと現状(国プランと自治体プランとの連動, プラン実現の方法と責任, 計画における需給調節機能, 介護保険と高齢者福祉事業), 4) 高齢者介護プランの課題と方向(地方分権の時代にふさわしい国プランと自治体プランの関係構築, プランに対する国と自治体の責任の明確化, プランの需給調節機能の確実化, 介護と予防を一体化させた計画作りの推進)。”

【分類コード】 GB04020H (614. 2/. 4)

【キーワード1】 “社会福祉, 老人, ヒト, サービス, 患者管理, 計画, 高齢化社会, 社会問題, 保険, 医療費, 公共事業, 国家政策, 地方自治体, 日本”

【キーワード2】 “JCME, 介護, 介護保険”

【ダウンロード】 2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 85

【整理番号】 03A0061780

【和文表題】 地方分権による保健医療福祉活動の展開 13 世界の健康政策と健康日本 21

【著者】 川口雄次 (WHO 神戸セ)

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2003. 01. 15 【巻】 67 【号】 1 【頁】 57-61

【抄録】 “世界の健康政策と健康日本 21 について、以下の項目に分けて解説した。1) 「個人の健康」へ向かうべき世界の健康政策-世界のどこで、どのような健康政策を作ろうが、その究極の目標は「個人が健康を享受し、健康的な状況を死ぬまで続けられること」であるに違いない, 2) 世界の潮流と健康-世界の中で日本が考え、見習、できれば率先して行動していくべきものとしては、健康分野では、個人の健康を支援するシステム作りをとり入れられることである。この目標達成ためには以下の 3 つがある-a) 経済のグローバル化と健康, b) 健康の鍵を握る予防政策, c) 生活環境と健康, 3) 世界に広がる地方分権の波, 4) 高まるコミュニティヘルスへの関心, 5) WHO 健康開発総合研究センター(WKC)の方針, 6) これからの健康政策と健康日本 21-日本は既に 21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)を明確にし、これを一つの基本として第一歩を踏み出した。これは日本が国民健康づくり運動の中で

世界に先駆けて直面する、高齢化と共に起きる生活習慣病や様々な問題に対する新しい回答を出すという意味で、画期的なものといえる。”

【分類コード】GB02000X (614)

【キーワード1】“健康管理, 支援プログラム, 住環境, 成人病, 高齢化社会, WHO【国連】, 自己管理, 老人, ヒト, 社会福祉”

【キーワード2】“JCME, 生活習慣病”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 86

【整理番号】03A0050318

【和文表題】地方分権時代の保健師活動

【著者】野村陽子 (厚生労働省 健康局)

【資料名】保健婦雑誌

【発行】2003.01.10【巻】59【号】1【頁】56-65

【抄録】“「地方分権時代にふさわしい保健師活動とはなにか」, 「保健師という専門能力をどのように活かすことが, 行政職員として住民のニーズにこたえることになるのか」について考えていることを整理して述べた。健康づくり, 心の健康問題, 高齢者対策, 健康危機管理, 感染症対策などは都道府県の保健所と政令市を含む市町村によって取り組まれている。その役割分担と連携の状況は自治体によっても異なっている。保健師に求められる役割・機能は「ニーズ把握」, 「行政サービスの提供」, 「連携・調整」, 「施策化」であり, いままでも保健師が実践してきたものであるが, 健康課題が変化し, 地方自治体の役割変化とあいまって保健師の役割・機能を転換させて行くことが必要である。”

【分類コード】GB07000G (616-083)

【キーワード1】“ヒト, 保健婦, 行政, 健康管理, 精神衛生, 老人, 感染症, 地方自治体, 高齢化社会”

【キーワード2】“JCME, 地方分権”

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 87

【整理番号】03A0016960

【和文表題】院内機能の分散化の動き 病院における集中と分散

【著者】大道久 (日本大 医 社会医学 医療管理学部門)

【資料名】病院

【発行】2002.11.01【巻】61【号】11【頁】860-864

【抄録】“最初に, 日本の病院の中央診療部門としての位置付けが確立されるまでの経緯を簡単に説明した後に, 医療機能の高度化とは別に, 高齢化の伸展により長期療養を必要とす

る患者を受け入れるニーズの増大,及び手術の実施件数や医師の専門性により,診療報酬の支払いに格差を付けるなどの医療機能の集積化の動きが出てきていることを指摘した。次いで,病院機能の分散を加速し,組織的に影響を及ぼした要因(医療提供の場が施設から在宅へ移行する流れが明確になったこと,患者志向の価値観の浸透)を取り挙げた。そして,病院の分散化傾向の伸展には,情報技術や物流の進歩によるところが大きく,個々人の権利意識の高まりや,地方分権に見られるような各々の立場の自律性が確立しつつあることを認識しておく必要性を意見として呈した。”

【分類コード】GB04020H (614.2/.4)

【キーワード1】“病院,集中化,分散化,体系分類,協力,在宅看護,アフターケア,消費者志向,地域医療”

【キーワード2】JCME

【ダウンロード】2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 88

【整理番号】03A0008553

【和文表題】地方分権による保健医療福祉活動の展開 12 環境問題と地方分権

【著者】宮田秀明(摂南大 薬)

【資料名】公衆衛生

【発行】2002.12.15【巻】66【号】12【頁】915-918

【抄録】“21世紀の環境問題について,以下の項目に分けて解説した。1)21世紀における環境問題の様相-地球温暖化問題,オゾンホール,砂漠化,地球資源の枯渇化,酸性雨等が国際問題になっており,現在の環境実態は深刻である,2)日本におけるダイオキシン汚染の現状-残留性有機汚染物質(Persistent Organic Pollutants:POPs)が,その難分解性,高蓄積性,長期毒性,長距離移動性といった性質から地球規模の汚染を起こしている。POPsの一つのダイオキシン類は,現在の環境汚染レベルで人体に影響を及ぼしている可能性が強く,対策が各国で進められている,3)日本におけるダイオキシン類汚染対策-1999年3月,「ダイオキシン対策推進基本法方針」が打ち出され,6月にTDI(耐用一日摂取量)が4pgTEQ(毒性等価量)/kg/日に改正され,Co-PCBが規制物質に追加された。さらに「ダイオキシン類対策特別措置法」で,環境基準(土壌,公共用水,大気)が設定され,都道府県知事等による汚染の常時監視が義務付けられた。平成14年,環境省は公共用水水域底質の除去基準を150pgTEQ/gに設定した,4)先進国のダイオキシン類対策からの教訓,5)21世紀の環境汚染における対策の戦略と展望。”

【分類コード】SB01000C (614.7)

【キーワード1】“水質基準,大気質基準,排出基準,地球温暖化,オゾンホール,大気オゾン,砂漠化,酸性雨,ダイオキシン類,環境,環境汚染,ヒト”

【キーワード2】JCME

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 89

【整理番号】 03A0008549

【和文表題】 公衆衛生における医療 医療行政における保健所の役割

【著者】 “佐藤牧人, 嵐田光宏 (仙台市青葉区保健福祉セ)”

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2002.12.15 【巻】 66 【号】 12 【頁】 892-897

【抄録】 “医療行政において保健所が積極的に果たすべき役割について,以下の項目に分けて解説した。1)医療と行政のかかわり-医療は生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし,治療や疾病予防のための措置やリハビリテーションを含め,担い手である医師と受け手である患者との信頼関係に基づく契約行為で,行政が介入すべきものではない,2)医療行政の体系と課題-現在の医療を含む一般衛生行政の体系は,明治以来の監視取締り本位の姿から技術的な指導行政への転換が行われ,国-都道府県-保健所-市町村(衛生主管係)という一貫したものとなっている,3)変革期にある医療行政と保健所-医療行政はその時々々の社会環境や経済状況の影響を受け,それに的確に対応することを求められる。社会・経済状況の変化は地方分権の流れを作りだし,法律改正をもたらす医療行政へも大きな影響を与えている,4)保健所の役割分担と権限の実際-国,都道府県,市町村の役割と権限について述べた,5)地域住民と向き合う保健所とこれからの医療行政-実際の医療行政における保健所の役割は,市民の立場に立って考えれば明解である。”

【分類コード】 GB04020H (614.2/.4)

【キーワード1】 “公衆衛生, 医療制度, 社会福祉, 保健所, 行政機関, 政府, 自治体, リハビリテーション, 医師, 患者, ヒト, 契約”

【キーワード2】 JCME

【ダウンロード】 2007.02.28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 90

【整理番号】 02A0891257

【和文表題】 地方分権による保健医療福祉活動の展開 11 障害者サービスと自治体の役割

【著者】 右田紀久恵 (大阪府大)

【資料名】 公衆衛生

【発行】 2002.11.15 【巻】 66 【号】 11 【頁】 849-854

【抄録】 “障害者サービスと地方自治体の役割について解説した。はじめに,障害福祉計画と地方自治体について述べた。1)計画の動向(1983-2002年)-わが国の障害福祉計画は国際障害者年を契機に1983年長期計画としてスタートした,2)計画の評価と課題-国際障害者年を契機とした諸計画を新しい改革に向けての助走と評価する理由,地方分権の具現化とし

での動きは未だ限られたものである, 3) 地方自治体の計画策定状況と評価-地方障害者計画の策定状況, 4) 新しい「障害者基本計画」及び「障害者プラン」の策定について-平成 14 年度中に平成 15 年度を初年度とする新たな障害者基本計画を策定することになった, 障害者基本計画の前期重点施策実施計画として新たな障害者プランを策定する。次いで, 支援費制度と地方自治体について述べた。1) 国・地方自治体の役割分担-支援費制度の基本的な流れ, 2) 介護保険制度との差異-支援費制度と介護保険制度との 3 つの大きな違い(支援制度は保険方式でなく税制度による, 基本的なサービスと施設の体系が変わらない, 障害者ケアマネジメントが制度化されていない), 3) 市町村の当面の課題-障害者福祉サービスの支援費制度への移行準備日程の例。”

【分類コード】GB04020H (614. 2/. 4)

【キーワード 1】“地方自治体, ヒト, 役割, 社会福祉, 身体障害者, 福利厚生, 医療制度, 社会保障, 権限, サービス, 長期計画, 行政, 保険, 治療計画, 地域医療, 税, 財政, 政策”

【キーワード 2】“JCME, 地方分権, 支援費制度, 介護保険制度, 地域政策”

【ダウンロード】2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT

NO. 91

【整理番号】02A0818348

【和文表題】地方分権による保健医療福祉活動の展開 10 地域医療と地方分権

【著者】高木宏明 (国立療養所高山病院)

【資料名】公衆衛生

【発行】2002. 10. 15【巻】66【号】10【頁】756-759

【抄録】“地域医療は「地域住民が医療者とともに主体的に地域の医療文化を築きあげる活動で, もっと国全体の医療文化を高め, 深めていく運動」と理解している。これからの地域医療の在り方は, 住民が自己決定し運動の主体となると思う。地方分権の試金石となる介護保険について考察した。地域のニーズに応じて開発された様々なサービスは, 制度として確立したものがある。そこで生まれた「保健医療福祉複合体」は要介護者を中心に囲い込んでいる。医療の現場は地域住民よりも, 大学や医局の方を向いていると思われる。医療者は地域住民の立場に立つことで, 地域医療が進展する。地域医療は固有の独自性を持った地域に生活する人たちの医療である。”

【分類コード】GB04020H (614. 2/. 4)

【キーワード 1】“地域医療, 科学史, 住民参加, 医療制度, 医師, 医学教育, 地方自治体, 独立性”

【キーワード 2】“JCME, 地方分権”

【ダウンロード】2007. 02. 28JMEDPlus JST COPYRIGHT